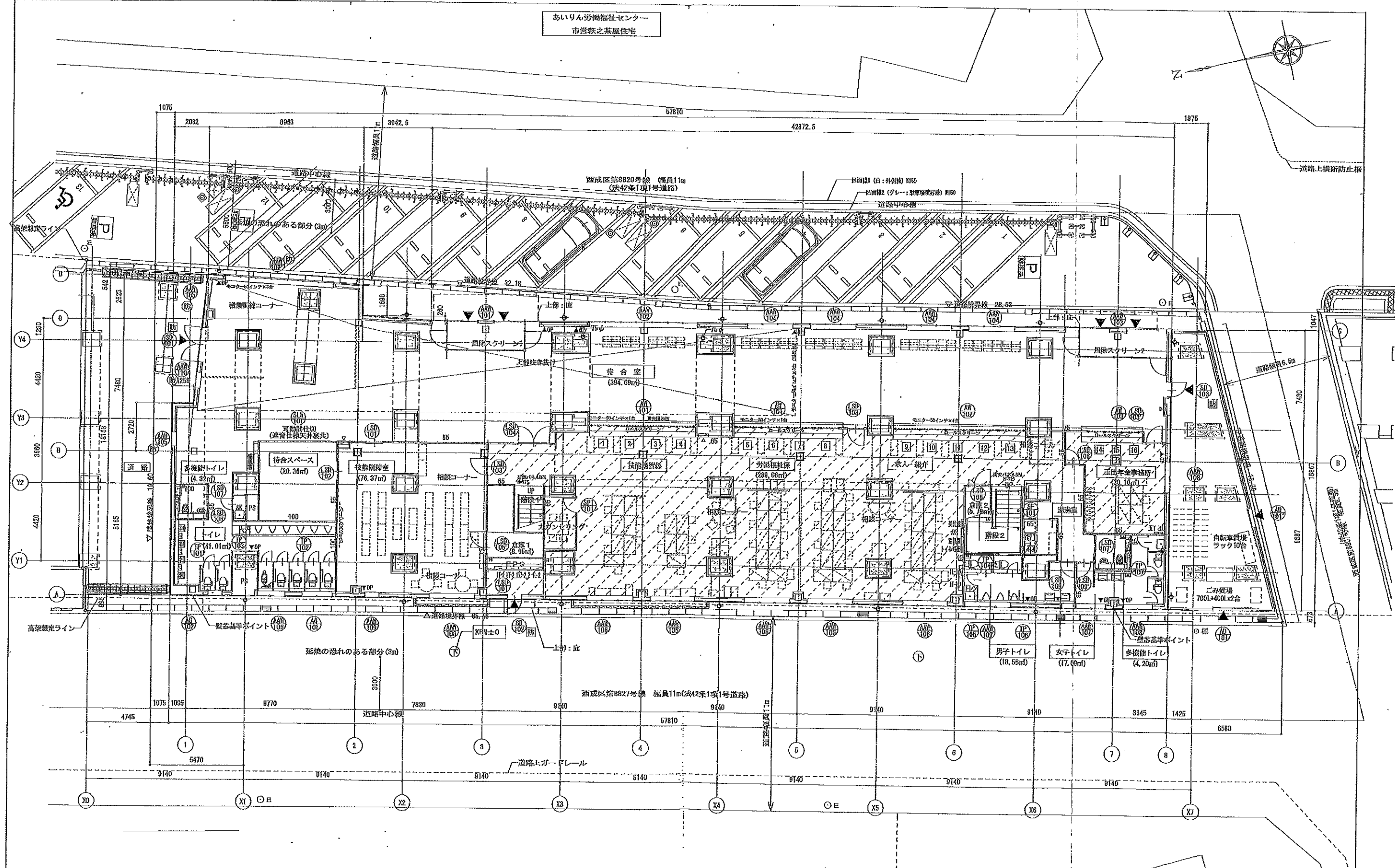
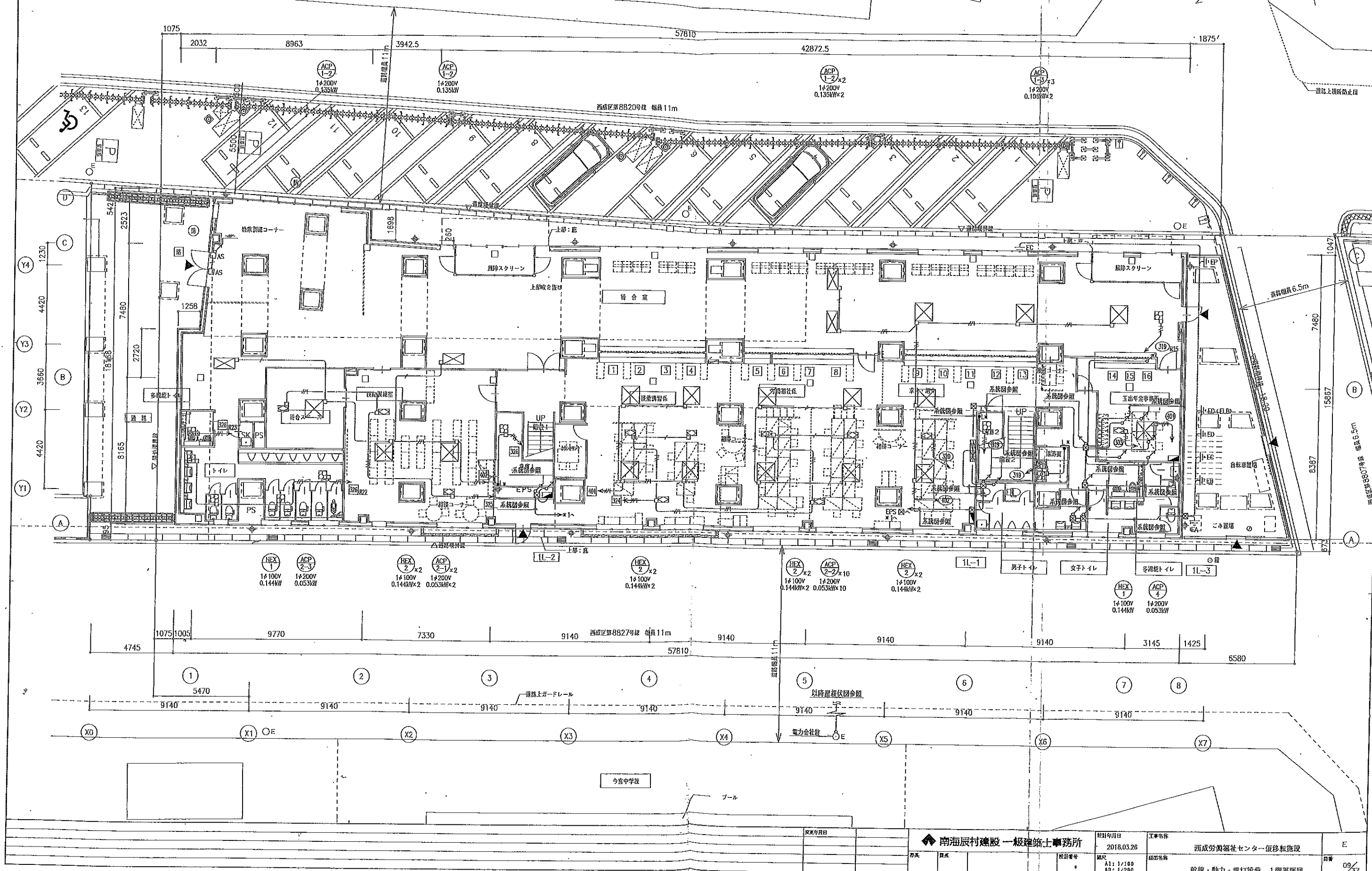




凡例		記号		説明		備考	
LS	10585下地R12.5+R12.5 6光床	○-R	ルーフドレン (気密 待合室100㎡)	図	防火区画 (壁・扉)	⊗	茶室 (インバー) 付
LS	10585下地R12.5+R12.5 6光床 (改修)	○-R	ルーフドレン (気密 待合室100㎡)	△UP	換気システム	⊗	茶室 (改修あり)
LS	10575下地R12.5+R12.5 6光床	○-R	ルーフドレン (気密 待合室100㎡)	▽	1/200 補修工事 (改修)	○E	200補修
		⊕	換気システム	+000	道路からの高低差を示す	⊕	下地コンクリート (防水・雨漏り対策)
詳細図を参照して下地の状態を確認。							
設計者				設計年月日		工事名	
西成労働福祉センター 仮移転施設				2018.03.26		1階平面図	
設計者				設計者		設計者	
17-02				A4:1/100 A3:1/200		15/65	

注記

1. 特記なき配管記号は下記による。	4. プルボックス寸法は下記による。(WPはSUS防水型を示す。)
EM-EFF 1.6-2C (天井内こしがし) 保護管 (PF16)	P1・150×150×100 P2・200×200×100
EM-EFF 1.6-3C (1Cアース) (天井内こしがし) 保護管 (PF16)	P3・300×300×200 P4・400×400×300
EM-EFF 2.0-2C (天井内こしがし) 保護管 (PF16)	P5・500×500×400
EM-EFF 2.0-3C (1Cアース) (天井内こしがし) 保護管 (PF22)	特記なきプルボックス寸法は系統図参照とする。
2. 高圧引込設備及び幹線設備については系統図・幹線リストを参照のこと。	5. 図中●Lの傍記に△のあるものは位置ボックスを照明設備のものと共用すること。
3. 動力設備は動力盤リストを参照のこと。	



南海辰村建設 一級建築士事務所

2018.03.26

西成労働福祉センター仮移転施設

幹線・動力・電灯設備 1階平面図

09/37

凡 例	記 号	名 称	名 称
	● LF3P	電圧 3P 保持器共	
	□	天井換気扇	機械設備工事
	□	金融交換器	機械設備工事
	□	空調室内機	機械設備工事
	⊕ ET	埋込コンセント 2P15A×1	ET付
	⊕ WP	防水型コンセント 2P20A×1	ET付 200V用
	● L	埋込スイッチ 1P15A 動作表示灯付	
	⊕	押知スイッチ ON・OFF	ランプ付

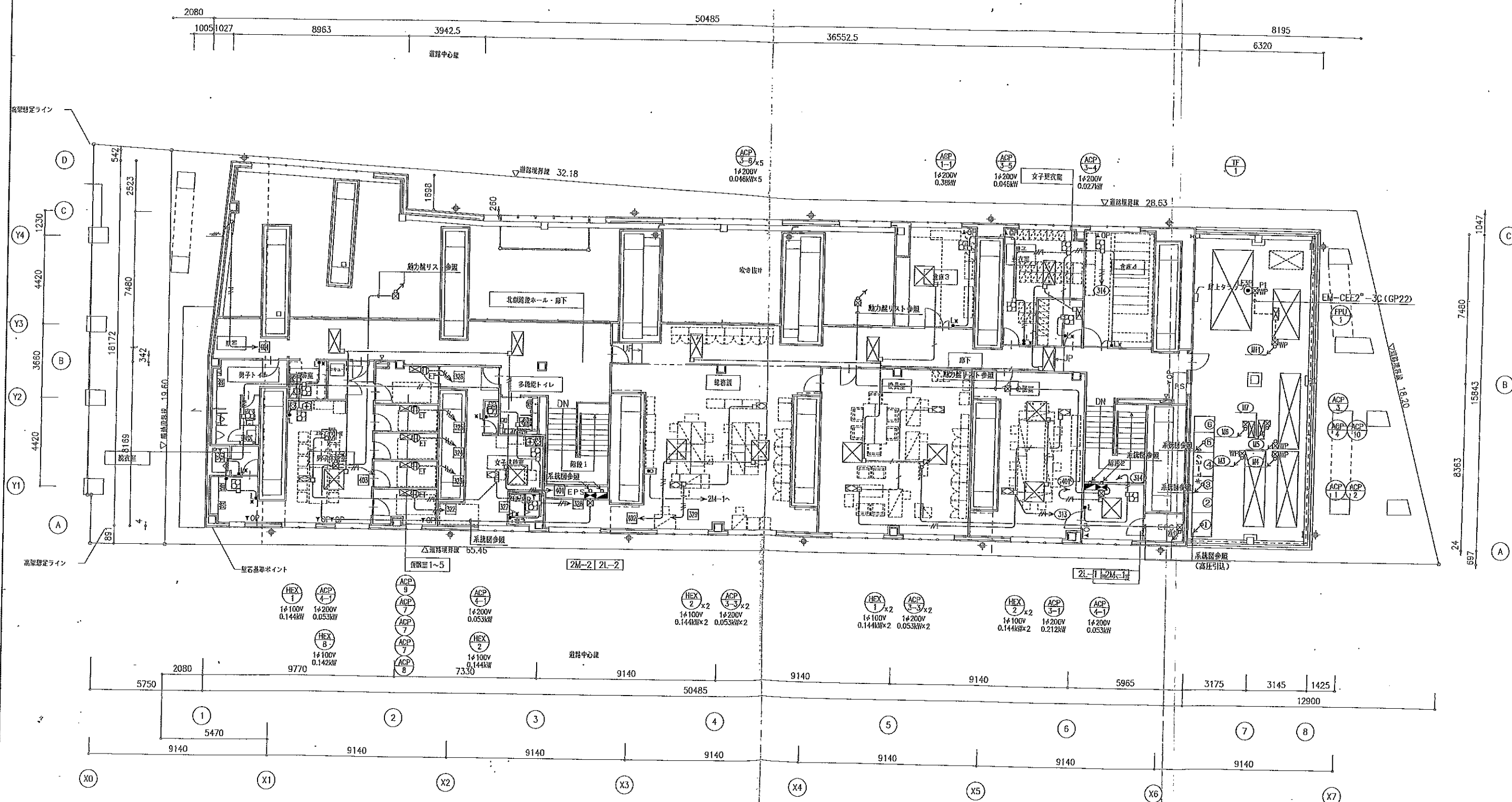


図 1	南海辰村建設 一般建築士事務所	設計年月日	2018.03.26	工事名称	西成労働福祉センター仮移転施設	E
図 2		図 3	A1: 1/100 A3: 1/200	図 4	幹線・動力・電灯設備 2階平面図	10/37

工事名称 西成労働福祉センター仮移転施設

1. 工事概要

1. 工事場所 大阪市西成区

2. 都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等 ● 印が付いたものが、該当する。）
 ○都市計画区域内（○市街化区域 ○市街化調整区域 ○区域区分未設定）
 ○準都市計画区域内 ○都市計画区域及び準都市計画区域外

3. 防火地域 ☒ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☐ 指定なし

4. その他の区域、地域、地区又は街区

5. 工期 契約日と同日より平成 年 月 日まで
(但し、本工事の内 については平成 年 月 日の部分引渡しとする。)

6. 圖面枚数 全 枚 (表紙共)

7. 這物概要

植物名称	构造	层数	透水面積 [m ²]	淋溶法分類表一	備考
庁舎	S造	地上2階	1517.0 [m ²]	15項	
	CB造				

* 延べ面積は、建築基準法施行令第2条第4号による。

8. 工事種目(●印を適用し、各一式とする。)

設備名	庁舎			課外
● 空室調和設備	●			
● 自動昇降設備	●			
● 給排水衛生設備	●			●
○ ガス設備				
○ 医療ガス設備				

9. 工事内容

工事項目		工事内容
空調設備設置	機器	空冷ヒートポンプマルチパッケージ・オフィスエアコン・ルームエアコンの 据付運転調整の一切をおこなう。
	ダクト	空冷ヒートポンプマルチパッケージ・オフィスエアコン・ルームエアコンの ダクト工事を行う
	配管	空冷ヒートポンプエアコンの据付に伴う冷媒配管、ドレン配管の一切をおこなう
	換気	給排気ファン・ダクトの据付運転調整の一切をおこなう。
	機器	—
自動制御設備	自動制御盤	—
	中央監視 制御装置	—
	計装用機材	各エアコン・全熱交換器等のリモコン配線の一切を行う。
給排水衛生設備	衛生器具	各便所、湯沸室等の衛生器具の据付調整一切を行う。
	給水設備	引込管から延長し給水配管から各水栓等に 至る給水工事の一切を行う。
	排水設備	各便所、湯沸室等の衛生器具からの排水工事の一切を行う。 巨大排水栓及び排水工事の一切を行う。
	給湯設備	各湯沸室・洗面室等の台下電気温水器から給湯栓に至る給湯配管の一切を行う。 屋外設備のヒートポンプエアコン、貯湯槽よりシャワー栓の給湯配管の一切を行
	消火設備	スプリングラー設備、補助熱水栓等の配管工事一切を行う。
	厨房機器	—
	ガス設備	—
医療ガス設備	—	

10. 主事社様

1. 標準仕様書等(平成28年度)とすると、
本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁管理部監修の公共建築工事標準仕様書(指図書設計工事編)〔以下「標準仕様書」という。〕、公共建築改修工事標準仕様書〔機械設備工事編〕〔以下「改修工事標準仕様書」という。〕及び公共建築設備工事標準図〔機械設備工事編〕〔以下「標準図」という。〕による。

2. 特記仕様

(1) 本仕置は、●印が付いたものを本工事に適用する。●が付かない場合は、※を適用する。

(2) 本工事に含む電気設備工事及び建築工事の施工業者は、原則として平成22年度大阪府建設工事参加入札参加資格の認定を受けている者（電気工事・建築工事）より選出すること。

(3) 本工事に含むガス設備工事の施工は「ガス事業法」に基づき事業者の責任施工とし、供給ガスは都市ガス13A（45M³/m53）とする。

(4) 一般共通事項

項目

特記事項

● 設計図書等の優先順位

すべての設計図書及び配付書類等は相互に補充するものとする。ただし、これらに相違がある場合の優先順位は、次の(1)から(5)の順番のとおりとし、これにより疑い場合は、標準仕様書による。
(1) 資材回答書 (2) から (6) に対するもの (2) 補足説明書及び追加配付文書
(3) 本設計仕様書 (4) 図面 (5) 標準施工図
(6) 標準仕様書、改修標準仕様書及び標準図

● 用語の定義

「特記」とは、「設計図書等の優先順位」の(1)から(5)に指定された事項をいう。

● 主任技術者等

契約書に規定する主任技術者又は監理技術者は、その資格を怪する資料を監査員に提出し、承諾を受ける。

● 工事実施情報の登録

補足説明書による。

● 施工条件等

施工現場及び火災危険等の調査については、補足説明書による。

● (工事用設備等)

工事現場の居住環境及び資材積荷場を敷地内に設けること(2)による。●できない。

● (施工中の環境保全)

塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の取扱いに当たっては、当該製品の製造者等が作成した化学物質安全データシート(MSDS)を参照し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。

● 採材

根材等は、平成22年度大阪府住宅まちづくり部公共建築事業採設備工事根材製造者指定一覧表による。同表に無い根材は、標準仕様書及び改修標準仕様書による。なお、図中の製造者標準品とは当館指定製造者又は製作する既製品をいう。

○ 再利用品

監督員立会いの下で撤去前の動作確認を行う。

● 廃壊への配慮

「国庫」による貴重物品等の国庫の搬送等に関する決裁」及び「大阪府工事事務所」による特定廃棄品等については「グリーン購入法適合品」とする。

○ 技能士

○ 配管施工 (機械設備工事の配管) ○ 熱処理工事 (機械設備工事の保温、保冷、防湿)
○ 冷凍・空調調製機器施工
(「チリツグユニット、パッケージ型空気調和機及び冷凍、冷凍装置の梱包及び整備」)
○ 建築板金施工 (機械設備工事のダクト製作及び取付け) ○ 厨房設備施工
○ 増設設備施工 ○ 改修設備施工

○ 化学物質の濃度測定

○ 測定する ○ 測定しない
測定：内装工事を行った室のうち、結した室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告すること。
なお、特記なき場合は、全室測定とする。
測定箇所数：室の床面積[A_m2]に対して、以下の箇所数以上とする。

室の床面積[m ²]	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A
測定箇所数	1	2	3	4

測定対象化学物質：
(一般施設・住宅)：ホルムアルデヒド、MEK、ホルム、トルエン、ベンゼン、アセトン
(学校)：上記＋アセトアルデヒド
空気採取方法：※採取方式(パッシブ型採取機器) ○ 吸引方式
測定依頼等：室内空気中化学物質の濃度測定依頼(大阪府環境都市部公共建築課)による。

● 化学物質を発生する建築材料等の使用制限

本工程で使用する建築材料は、設計図書に規定する前記の品質及び性能を有するものとし、次の(1)～(5)を満たすものとする。
(1) JIS及びJASにおける合板、複合フローリング等の内装材のホルムアルデヒドの発散量の表示に関する等級規格は「F☆☆☆☆」とする。ただし、建築基準法、小規模住宅表示制度において内装の仕材の選別から除かれる化粧造材及び天井裏等の仕材は「F☆☆☆☆」以上とする。
(2) 壁紙はホルムアルデヒドの放散量が「生活環境の安全に配慮したインテンテラ材料に関するガイドライン(ISM)」あるいはこれと同等以上の基準、性能に適合するものを使用すること。
(3) 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びベンゼンを発生しない、発散量が極めて少ないものを使用する。
(4) 接着剤はホルムアルデヒドを含まないもの、トルエン、キシレンの放散量の極めて少ないものを使用すること。なお、可燃剤を使用している断熱用及び木工用接着剤は「パッシブゾーンブル及びパッシブゾーンエーテルペンキ含有しない難燃発煙の可燃剤を使用しているものとする。
(5) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものを使用すること。
ホルムアルデヒドの発散量が「規制対象値」に該当する建築材料とは以下のものをいう。
(以下「規制対象外材料」という。)
○ / 1 JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
○ / 2 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
○ / 3 下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料の使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用
ホルムアルデヒドの発散量が「第三項」に該当する建築材料とは以下のものをいう。
○ / 1 JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
○ / 2 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
○ / 3 国JISのEco規格品
○ / 4 国JISのF☆☆☆☆規格品

● 検査に要する費用

検査に要する費用は依頼者の負担とする。

● 工事写真

完成後外部から見えない主要な部分及び全工事の施工段階の工事写真(カラー写真、サイズは「サイズ以上」)を提出する。(建設大臣官庁官舎管理監督施設「工事写真の取り方」(改訂第2版))建築設備に関する。但し、デジタルカメラで撮影した場合は、サイズは「サイズ以上」でアルバ管理されたものを提出すること。

● 搬壊その他

搬壊による名簿や備蓄等、配管及びダクト類は、用途及び流れ方向、選流方向等を識別しては文字標記や矢印標記をJIS2910により行うこと。
また、次の事項に留意し、詳細は監査員の指示による。
(1) 配管やダクト類の用途別に色分け表示を行うとともに、サイズや用途、矢印等の記入を行うものとする。なお、保温等を施したものは必要によりその上にカバー等を巻付け、図鑑を行うものとする。
(2) 排気式配管(セントラル式給湯器、冷水・冷温水・温水配管、冷却水配管等)については、往き配管は「(エ)」の各分岐点の配管番号1本線、戻り配管には、戻り2本線の表示を行うこと(「エ」の各分岐点の配管番号を除く)。
(3) 工事完成時に系統仕様に簡易図表(玉さきり)表を作成すること(パルプを含む)。
(4) 掘削する箇所については、監督者の指示により行うこと。

[illegible]

(5) 他工事との取合い区分 { 取合い区分欄は、原則(※)印の区分とする。ただし、(●:黒丸塗)がある場合にはその区分とする。

工 事 項 目	工 事 区 分 種 別				備 考
	本工事	設備	電気	ガス	
●屋根廻り各種水樋の取組（受水槽）	○	●			
●雨上用の梁台（屋根接板上への屋外用鋼製梁台）	※				
●架・盤・床等鋼体貫通スリーブ補強	○	※			
●貫通スリーブ及び穴埋め補修	※	○			
●防水面貫通漏洩	●	○			
●流し台・コンロ台（排水金動具）			○		
●雨上の水切り台及びその周辺み穴明け		※			
●受水槽の電線誘及及び電帯帯、電線コード	●		○		
●雨上制御盤への電線供給配管配線（接地共）	●		※		
●雨上機器の故障警報用の配管配線	●		※		
○高気圧の水電誘及及び電帯帯、電線コード、70-1214			※		
○雨上制御盤への電線供給配管配線（接地共）			※		
○雨上機器の故障警報用の配管配線			※		
○消火水槽の電線誘及及び電帯帯、電線コード、70-1214	○	○	※		
●雨上制御盤への電線供給配管配線（接地共）			※		
●雨上機器の故障警報用の配管配線			※		
○排水槽の電線誘及及び電帯帯、電線コード、70-1214	○	○	※		
○雨上制御盤への電線供給配管配線（接地共）			※		
○雨上機器の故障警報用の配管配線			※		
○消火用昇降給水の水電誘及及び電帯帯、電線コード、70-1214	○	○	○		
○雨上制御盤への電線供給配管配線（接地共）			※		
○雨上機器の故障警報用の配管配線			※		
○雨水槽留置の水電誘及及び電帯帯、電線コード、70-1214	○	○	○		
○雨上制御盤への電線供給配管配線（接地共）			※		
○雨上機器の故障警報用の配管配線			※		
●洗面器用床（前所は床架、一般は本工事）	※				
●洗面器 掃除流し等の取付アリの床	○	※			
●大・小便器洗浄用給水配管への電線供給配管配線	※		●		
●洗面器給水配管への電線供給配管配線	※		●		
●天井埋込換気扇の取付				※	
●天井埋込換気扇の配管配線・スイッチ・結線（一般SW）				※	
●天井埋込換気扇の配管配線・スイッチ（24時間専用換気SW）				※	
●天井換気扇の取付及び結線（24時間専用換気SW）	※				
●衣箱留への給排水配管接続工事	※				
●衣箱留付座便器一次側電気工事（設備共）					
○雨上操作盤・次側電気工事（動力取とのインターロック等）					
●雨上操作盤からの故障警報用配線			※		
○自動別装一次側電気工事（電線供給配管配線接続共）			※		
●天井点検口	○	※			
●ガス給湯器（本体）	※				
●ガス機器から手元SWまでの操作配線	※				
●ガス形空調機の手元スイッチの取付け・結線	※				
●ガス形空調機から手元SWまでの配管・ボックス			※		
●ガス形空調機から手元SWまでの配線	●	○			
○ガス形空調機の手元スイッチの取付け・結線	※				
○ガス形空調機から手元SWまでの配管・ボックス			※		
○ガス形空調機から手元SWまでの配線	○		○		
●空調換気扇の手元スイッチの取付け・結線	※				
●空調換気扇から手元SWまでの配管・ボックス			※		
●空調換気扇から手元SWまでの配線	●	○			
●バルコニーの室内へ室外配線	※				
●バルコニーの室内配線からの取り配線、兼中操作盤の取付け	※				
●ガス及び取付工事（給排水共）		※			
●吹出し口・破断口、天井換気扇等の下地及び切込み	○	※			

(6) 共通事項

項目

特記事項

○ 明御及び操作盤

標準仕様書による。ただし、（○：黒丸塗）がある場合にはその区分とする。

機材名	送風機出力	表示灯等	運転時間計
銅製ボイラー			○
漆鉄製ボイラー			
温水発生機	○		○
遠風扇ろ機	○		○
チリングユニット	($>30kW$)		○
空気熱源ヒートポンプ	($5.5kW \leq <30kW$)	○	○
遠心冷凍機		○	
スクラ-冷凍機			
小型吸収冷凍機			○
ガソ-形	($>7.5kW$)	○	○
空気調和機	($3.7kW \leq <7.5kW$)		
ガスヒートポンプ式	冷房能力($>28kW$)		
空気調和機	冷房能力($14kW \leq <28kW$)	○	

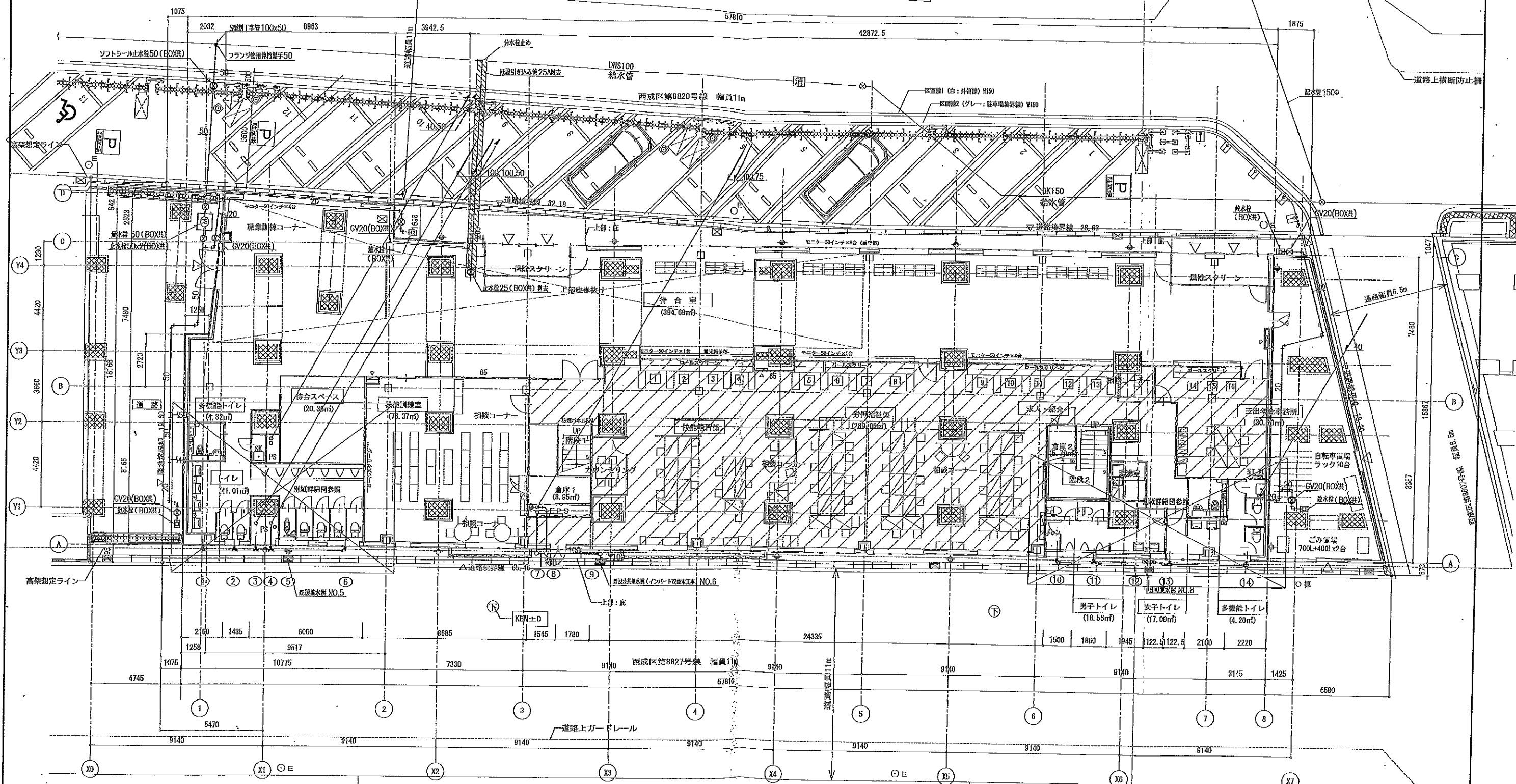
○ 表示灯等

機材名	運転灯	故障表示灯
空気熱源ヒートポンプ	($5.5kW \leq <30kW$)	○ ○

● 接続及び端子

機材名	送風機出力	運転時間計
ボイラー（温水用）		○
ボイラー（蒸気用）		○
温水発生機		○
チリングユニット		○
空気熱源ヒートポンプ		
遠心冷凍機		
スクラ-冷凍機		○
吸収冷凍機		○
遠だき吸収冷凍機		○
小型吸収冷凍機		○
パッケージ-形空気調和機	●	
ガスヒートポンプ式空気調和機	○	

あいりん労働福祉センター
市営萩之茶屋住宅



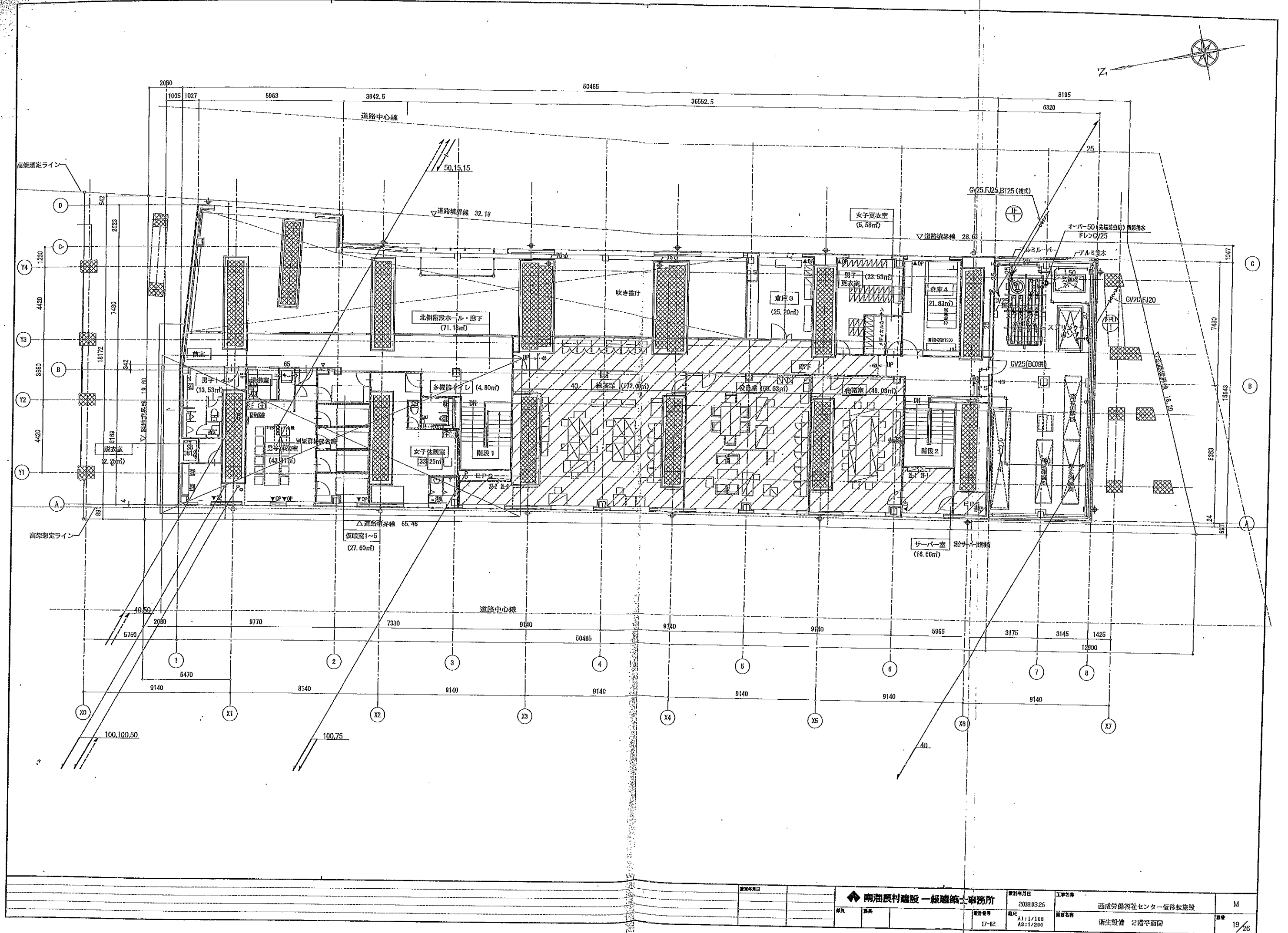
窓名義リスト (特記なきは単位はmmを示す)											
番号	名称	形状	数量	単位	高さ	幅	マンホール	備考	番号	名称	形状
1	窓	90L100-150	600	個	GL±0	600	なし		9	窓	90L100-150
2	窓	90Y100-150	630	個	なし	630	なし		10	窓	90L100-150
3	窓	90Y100-150	650	個	なし	650	なし		11	窓	90Y100-150
4	窓	90Y100-150	670	個	なし	670	なし		12	窓	WLS100-150
5	窓	WLS100-150	700	個	なし	700	なし		13	窓	90Y100-150
6	窓	90L100-150	650	個	なし	650	なし		14	窓	90L100-150
7	窓	90L100-150	640	個	なし	640	なし				
8	窓	90Y100-150	650	個	なし	650	なし				

今宮中学校

プール

南海農村建設一級建築士事務所

設計年月日 2018.03.26
工事名称 西成労働福祉センター仮移転施設
衛生設備 1階平面図



南海農産物産設一級建築士事務所		設計年月日	2018.03.26	工事名称	西成労働福祉センター仮移転施設	M
図尺	A1:1/100 A3:1/200	図面名称	衛生設備 2階平面図	図番	19/26	
図主	17-02	図主		図主		